

中小企業景況調査報告書

(第 110回)

平成20年 4 ~ 6 月期 実 績

平成20年 7 ~ 9 月期 見通し

平成20年 7 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成20年6月
- (2) 調査対象期間 平成20年4～6月期実績及び平成20年7～9月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	54	51	71	62	281
中規模	20	13	28	20	31	112
合計	63	67	79	91	93	393
構成比(%)	16.0	17.0	20.1	23.2	23.7	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 16社、建設業 10社、卸売業 4社、
小売業 15社、サービス業 24社、合計 69社

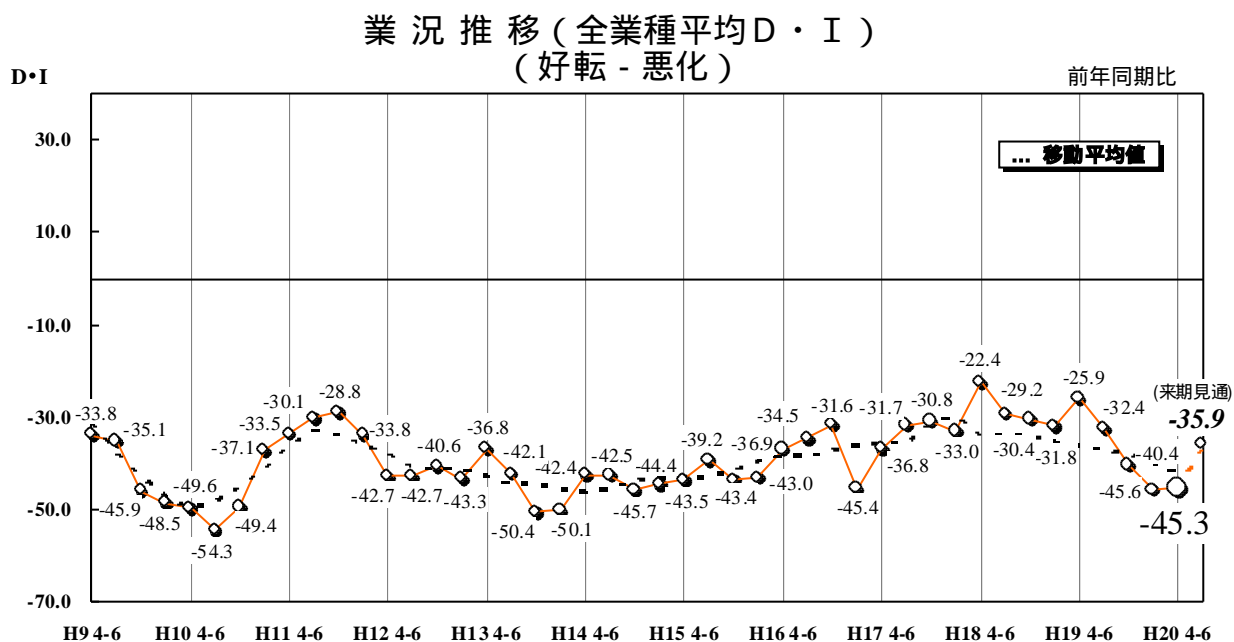
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

業況はマイナス水準でほぼ横ばいに推移、
原材料価格及び原油の高騰により依然厳しい状況

今期の業況



四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（4月～6月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成20年1月～3月期の水準と比較した今期の業況）では 27.9、前年同期比（平成19年4月～6月期の水準と比較した今期の業況）では 45.3と、業況は依然マイナスの水準で推移している。

前回の調査（平成20年1月～3月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 44.9 今回 27.9と17ポイントマイナス幅を縮小しており、前年同期比では前回 45.6 今回 45.3とほぼ横ばいで推移している。

業種別では、前年同期比で製造 41.9、建設 53.1、卸売 44.9、小売 44.4、サービス 42.4と、卸売業・小売業・サービス業でマイナス幅が縮小しているものの、製造業・建設業でマイナス幅が拡大する結果となった。

業況を札幌市とそれ以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 44.0（前回調査 43.1）、札幌以外の地域 46.1（前回調査 47.2）となっており、札幌市及びそれ以外の地域ともに厳しい状況となっている。

来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成19年7月～9月期の水準と比較した来期の見通し）では 35.9と、今期の水準（45.3）より9.4ポイントと改善する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」が高いウエイトを占めている他、製造業では「原材料価格の上昇」（46.3%）、建設業では「官公需要の停滞」（31.2%）及び「民間需要の停滞」（21.8%）、卸売業では「仕入単価の上昇」（22.1%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（21.9%）、サービス業では「材料等仕入価格の上昇」（19.0%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で13.9%と、前回調査時（10.6%）より3.3%上昇したが、依然、慎重な動きが続いている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 41.9（来期見通し 25.8）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成20年1月～3月期）時点からの推移では、前回 37.3 今回 41.9と4.6ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、原油価格高騰の影響に伴う「燃料・原材料・資材などのコスト上昇」による採算・業況悪化の声が多く寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・原油価格高騰の影響から、原材料、包装資材等も値上がりしており厳しい。利益確保に苦慮しており先行きも不安。（菓子製造業）
- ・原材料価格が倍以上となっているが、製品価格に転嫁できない。（食料品製造業）
- ・製造コストや流通コストの上昇が続いているが、商品価格への転嫁は限界となっている。（紙・パルプ製造業）
- ・売上は上昇したが、仕入単価の上昇率には追いつかず、採算が取れない（化学製品製造業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 53.1（来期見通し 44.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年1月～3月期）時点からの推移では、前回 47.7 今回 53.1と5.4ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「公共工事の減少」による売上の減少や「建築資材の高騰」による利益率の悪化などの声がでている。

〔主なコメント〕

- ・公共工事の減少に加え建築資材の高騰によるコスト上昇分を吸収できず経営を圧迫している。
(建設業)
- ・公共工事、民間工事ともに減少が続いている。また、建築資材も値上がりしており状況は厳しい。(建設業)
- ・土木関係は依然受注量の増加を見込めない状況が続いている。(建設業)
- ・改正建築基準法が施行されたことにより、建築確認申請の期間が長く工事の予定が立たない。
(建設業)
- ・工事受付件数は前年と同程度であるものの、受注単価の低下や材料価格の高騰が課題となっている。(電気工事業)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 44.9（来期見通 34.2）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年1月～3月期）時点からの推移では、前回 45.9 今回 44.9と1.0ポイントマイナス幅を改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「原材料・燃料の高騰」「仕入単価の上昇」による採算悪化の声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・消費の低迷による売上の減少の他、仕入価格も高騰が続いており業況は厳しい。(卸売業)
- ・長引く不況が響き、得意先企業が減少している。また新規出店企業の増加も見込めず、厳しい状況が続いている。(卸売業)
- ・原油価格高騰により経営面において更に深刻な状況になるのではないかと懸念される。(卸売業)

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 44.4（来期見通 37.3）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年1月～3月期）時点からの推移では、前回 46.5 今回 44.4と2.1ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出、「個人消費の低迷」などによる売上の減少、原油価格高騰の影響によるコストの上昇などを訴える声がでている。

〔主なコメント〕

- ・消費の低迷、大型店との競争激化の影響により売上の減少が続いている。(小売店)
- ・個人所得の減少により購買力そのものが減少している。(小売店)
- ・新車の販売不振、若年層の車離れ、ガソリン価格の高騰等の影響により、採算は悪化している。(自動車販売)
- ・消費低迷のあおりを受け、メロンギフトの受注が例年に比べ少ない。(食品小売)
- ・地元家電業界の売上は減少が続いており、改善の見通しが立たない。(家電販売)

【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 42.4(来期見通 37.4)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成20年1月~3月期)時点からの推移では、前回 50.6 今回 42.4と8.2ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは「利用客の減少」に加え「燃料の高騰」や「仕入価格の上昇」による採算・業況悪化の声が多く寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・燃料高騰分を価格に上乗せすることが出来ず、中小企業者の今後の経営面への影響が懸念される。(運送業)
- ・原油価格高騰の影響を受け経費も増加してきている。また、消費者の利用も減っており厳しい経営が続いている。(クリーニング)
- ・個人観光客の客足が低調である。(観光業)
- ・材料の価格が上がったが、商品を値上げできないため、量を減らし対応している。(飲食店)

道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

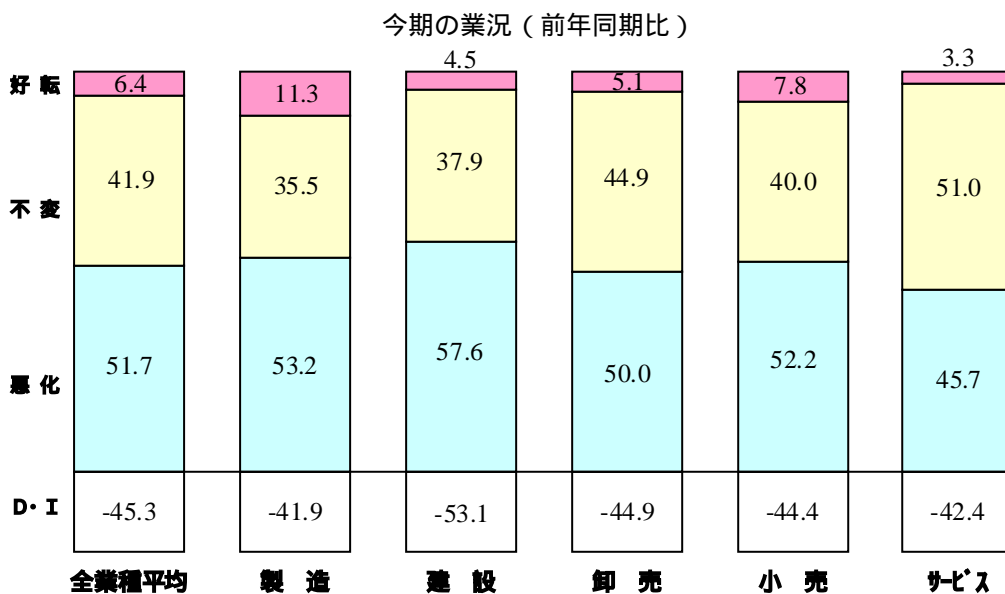
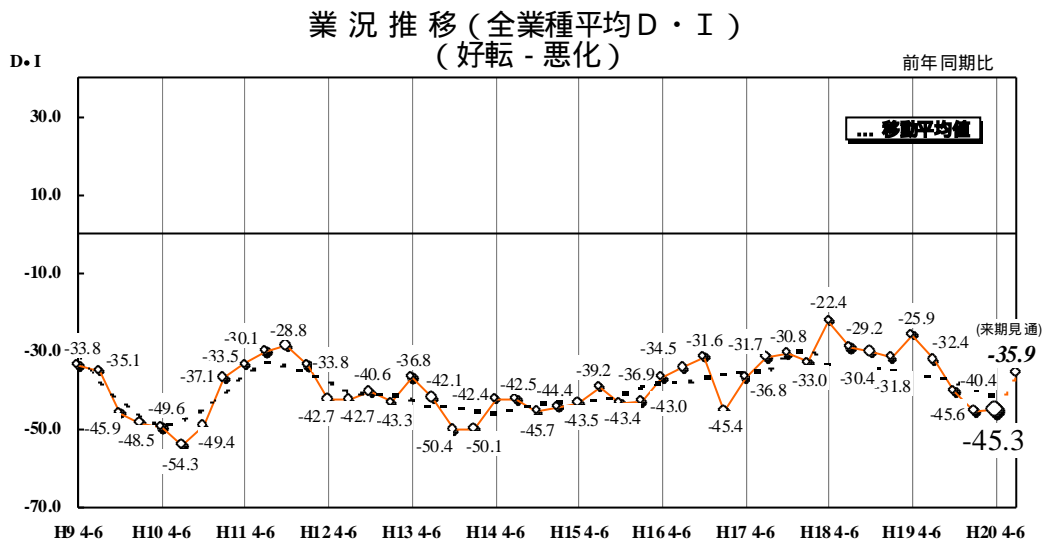
道内各商工会議所の相談窓口(中小企業相談所)からみた状況については、「原油価格高騰が続く中、特に運送業について大きな打撃を受けている。」「建設業については、公共事業の減少に伴い、業界の動きも停滞している。」等の声が出ています。

今期の小規模事業者向けの経営改善資金(マル経資金)の斡旋状況は、地域によりばらつきが見られるが、累計金額で前年同期比より増加している会議所が多く、資金の用途については「運転資金」の割合が総じて多い。

1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した今期の業況）

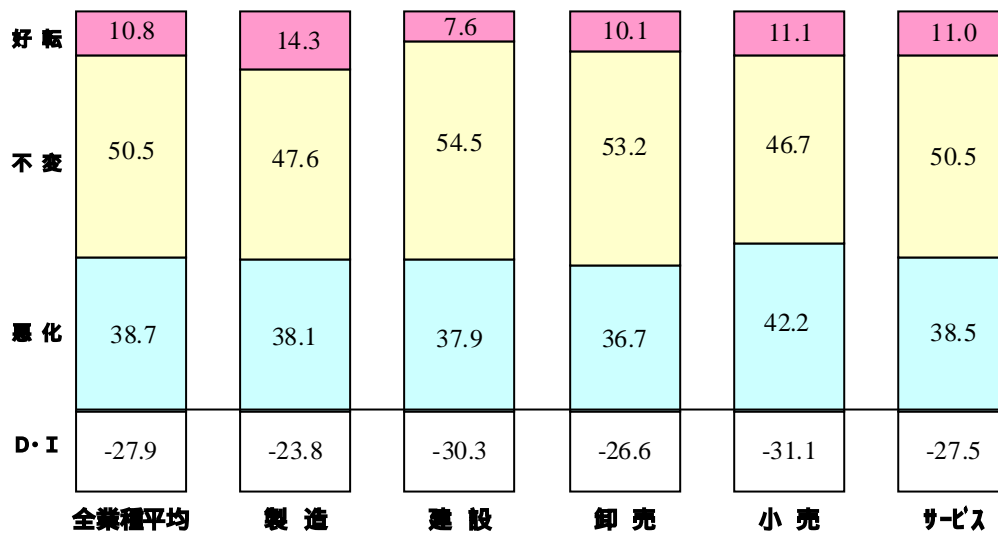


全業種平均でD・I値 **45.3**〔前回調査時（平成20年1～3月期 45.6）より0.3ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.3 41.9〕、建設〔前回 47.7 53.1〕
卸売〔前回 45.9 44.9〕、小売〔前回 46.5 44.4〕
サービス〔前回 50.6 42.4〕

【前期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況（前期比）

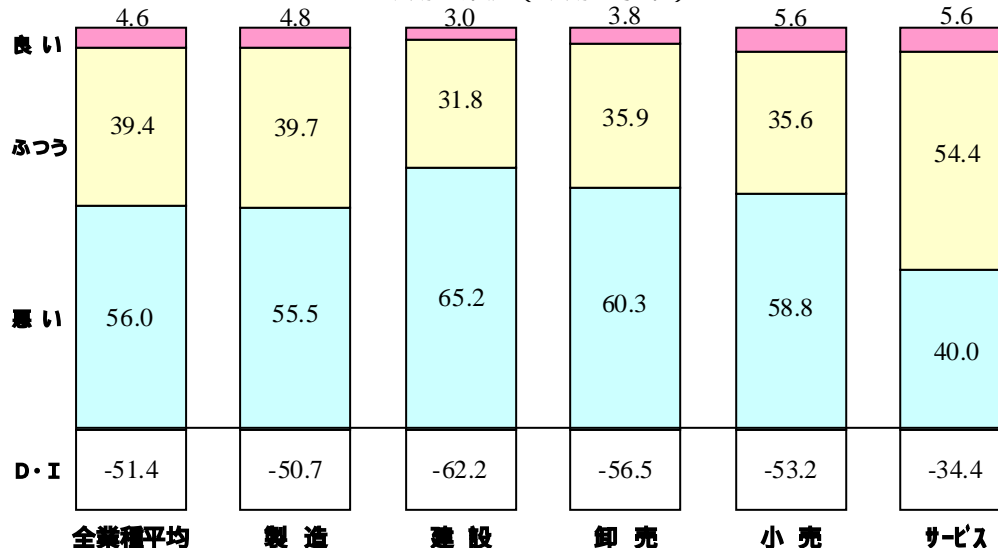


全業種平均でD・I値 27.9〔前回調査時（平成20年1～3月期 44.9）より17.0ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 42.9 23.8〕、建設〔前回 44.6 30.3〕
卸売〔前回 41.8 26.6〕、小売〔前回 52.9 31.1〕
サービス〔前回 42.4 27.5〕

【今期の水準】

今期の業況（今期の水準）

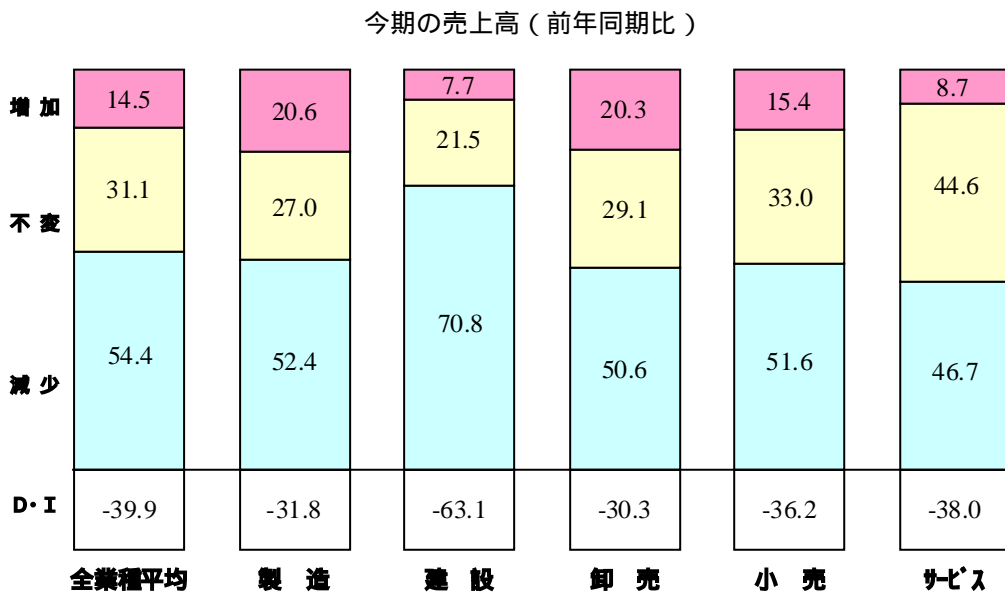
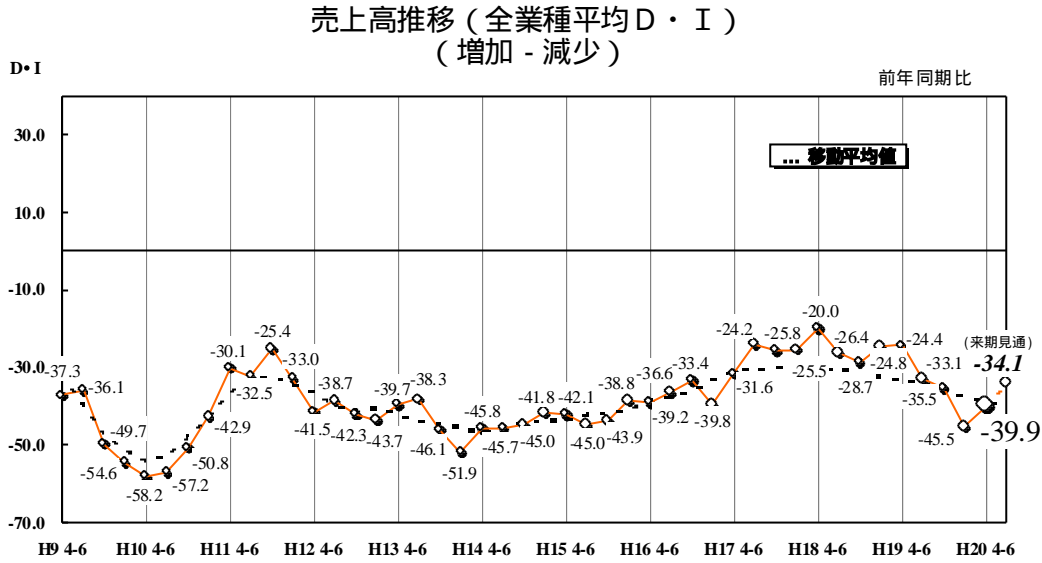


全業種平均でD・I値 51.4〔前回調査時（平成20年1～3月期 53.9）より2.5ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 49.1 50.7〕、建設〔前回 58.4 62.2〕
卸売〔前回 60.4 56.5〕、小売〔前回 57.5 53.2〕
サービス〔前回 44.1 34.4〕

(2) 今期の売上高

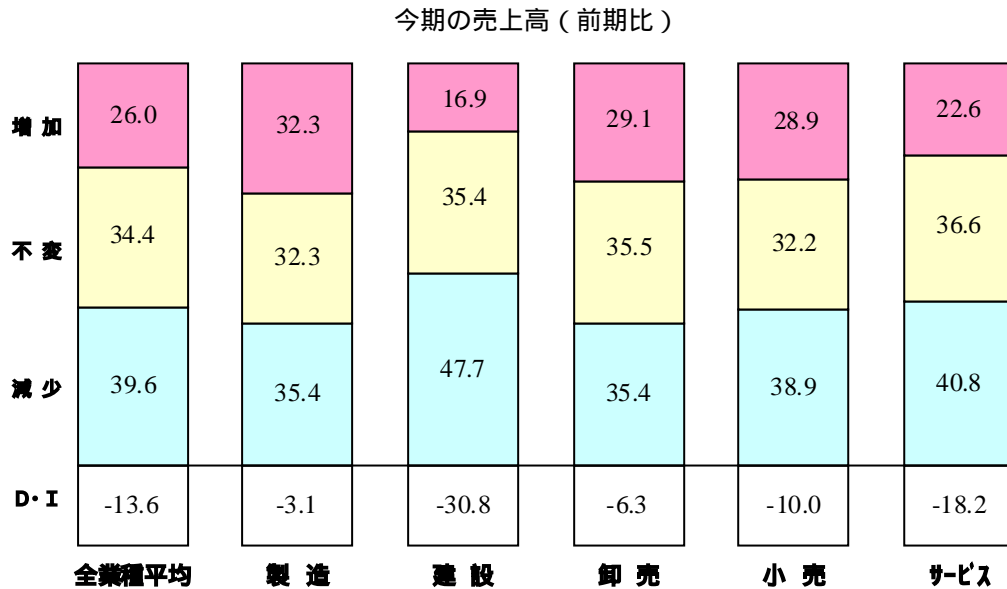
【前年同期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）



全業種平均でD・I値 **39.9**〔前回調査時（平成20年1～3月期 45.5）より5.6ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 32.3 31.8〕、建設〔前回 59.3 63.1〕
卸売〔前回 47.2 30.3〕、小売〔前回 27.6 36.2〕
サービス〔前回 43.6 38.0〕

【前期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）

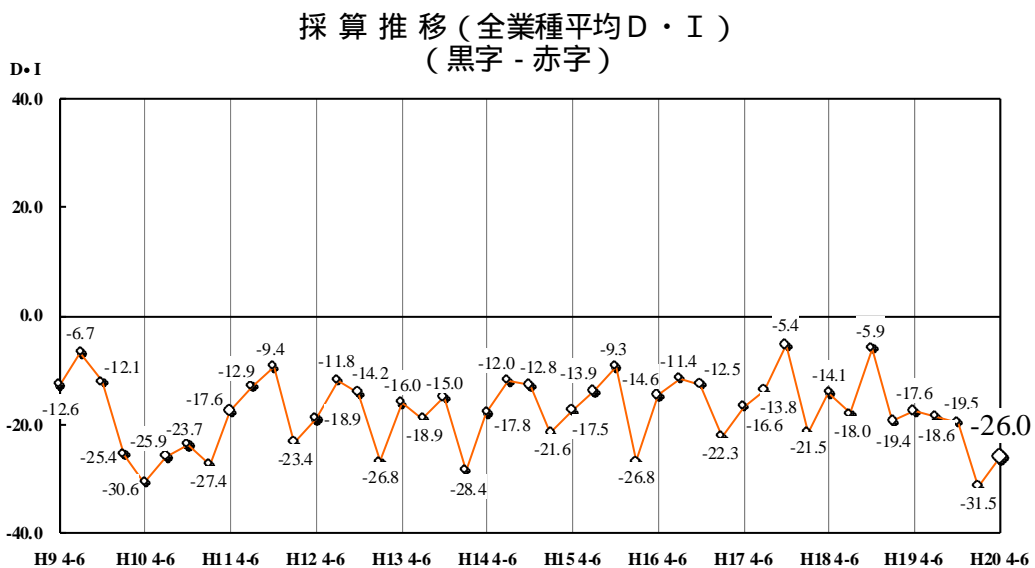


全業種平均でD・I値 **13.6**〔前回調査時（平成20年1～3月期 58.1）より44.5ポイントマイナス幅が改善〕。

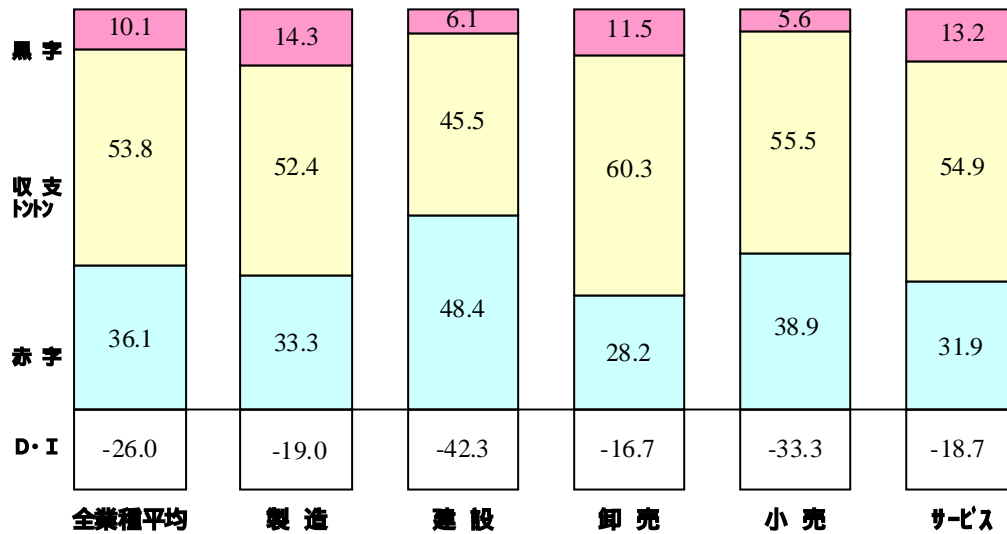
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 67.2 3.1〕、建設〔前回 59.4 30.8〕
 卸売〔前回 60.4 6.3〕、小売〔前回 61.3 10.0〕
 サービス〔前回 42.5 18.2〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



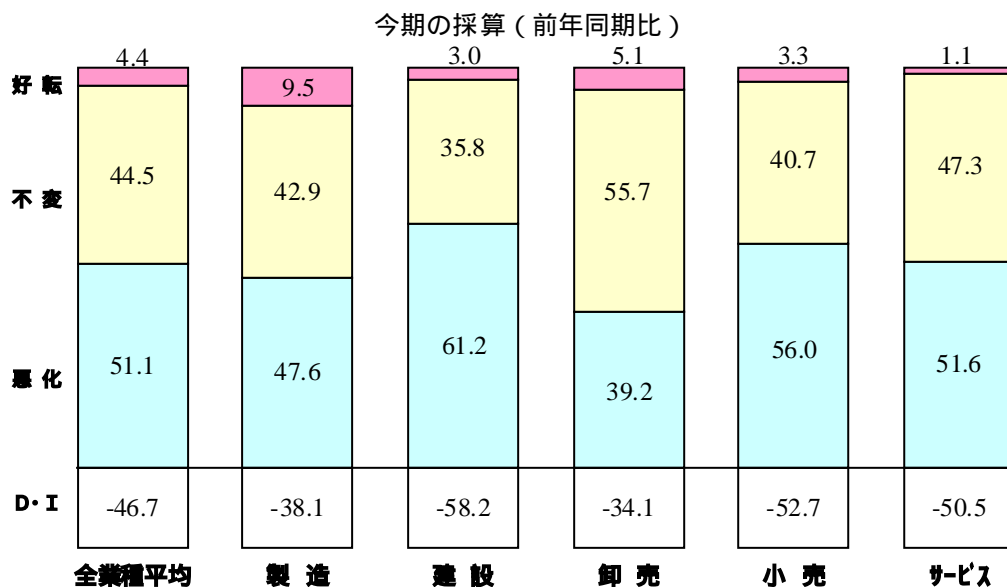
今期の採算（今期の水準）



全業種平均でD・I値 **26.0**〔前回調査時（平成20年1～3月期 31.5）より5.5ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 22.0 19.0〕、建設〔前回 35.4 42.3〕
卸売〔前回 28.7 16.7〕、小売〔前回 41.4 33.3〕
サービス〔前回 29.9 18.3〕

【前年同期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した今期の採算）

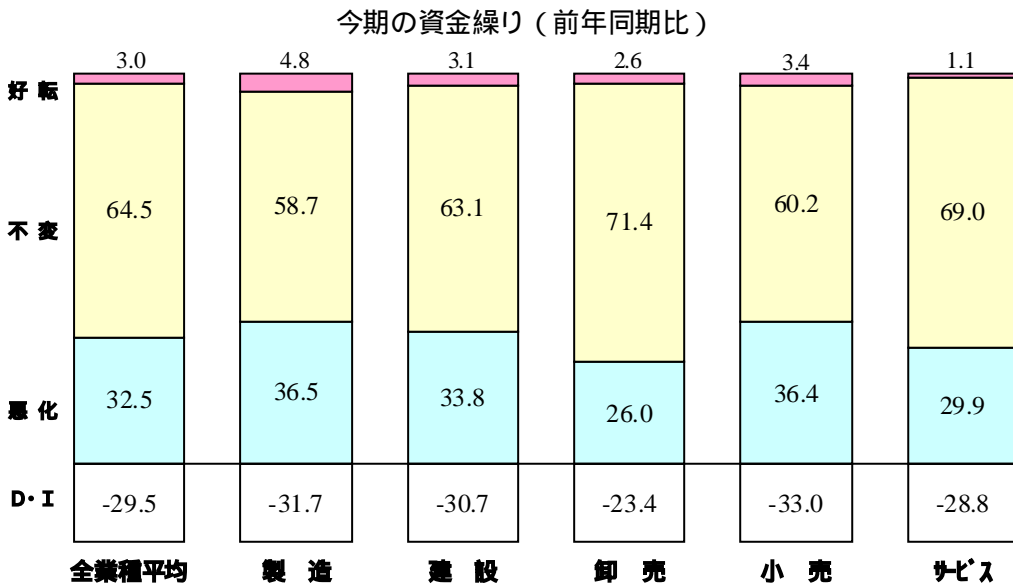
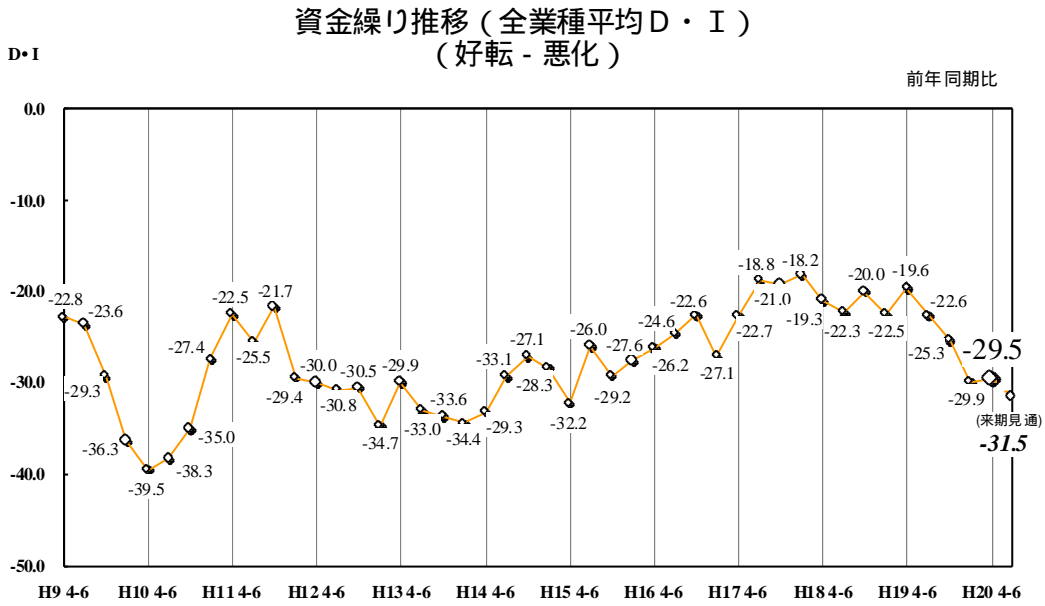


全業種平均でD・I値 **46.7**〔前回調査時（平成20年1～3月期 46.2）より0.5ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.9 38.1〕、建設〔前回 49.3 58.2〕
卸売〔前回 43.1 34.1〕、小売〔前回 49.0 52.7〕
サービス〔前回 50.6 50.5〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した今期の資金繰り）



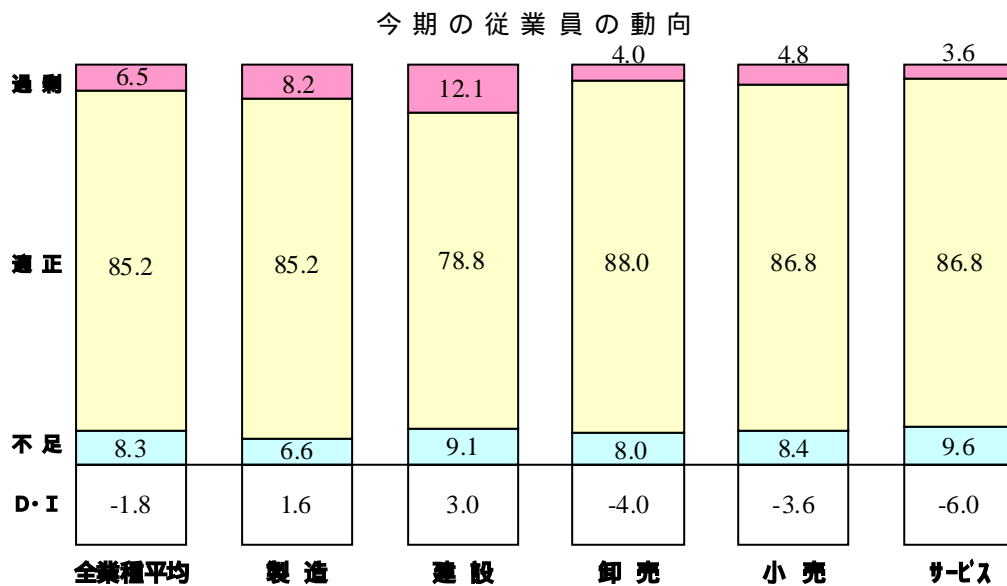
全業種平均でD・I値 **29.5**〔前回調査時（平成20年1～3月期 29.9）より0.4ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 27.1 31.7〕、建設〔前回 24.6 30.7〕
卸売〔前回 27.8 23.4〕、小売〔前回 40.3 33.0〕
サービス〔前回 29.3 28.8〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「原材料価格の上昇」	(46.3%)	[前回 41.9%]
	「需要の停滞」	(33.9%)	[前回 30.9%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(5.4%)	[前回 9.1%]
建設業	「官公需要の停滞」	(31.2%)	[前回 22.6%]
	「民間需要の停滞」	(21.8%)	[前回 25.8%]
	「材料単価の上昇」	(15.6%)	[前回 8.1%]
卸売業	「需要の停滞」	(50.6%)	[前回 47.6%]
	「仕入単価の上昇」	(22.1%)	[前回 19.4%]
	「人件費以外の経費の増加」	(7.8%)	[前回 1.5%]
小売業	「需要の停滞」	(25.4%)	[前回 26.2%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(21.9%)	[前回 22.6%]
	「仕入単価の上昇」	(11.6%)	[前回 10.7%]
サービス業	「需要の停滞」	(30.9%)	[前回 28.8%]
	「材料等仕入価格の上昇」	(19.0%)	[前回 13.7%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(15.5%)	[前回 13.7%]

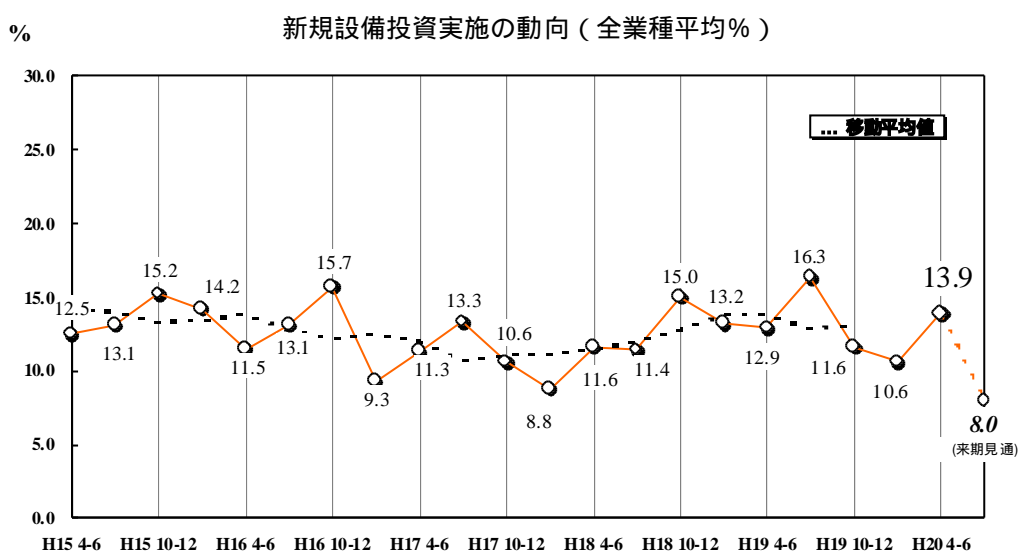
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 1.8〔前回調査時（平成20年1～3月期 1.9）〕と「不足」に傾斜しているが、「適正」（85.2%）とする企業が大勢を占めている。

- [業種別D・I値] 製造〔前回 1.8 1.6〕（適正85.2%）
 建設〔前回 3.2 3.0〕（適正78.8%）
 卸売〔前回 7.9 4.0〕（適正88.0%）
 小売〔前回 3.7 3.6〕（適正86.8%）
 サービス〔前回 2.9 6.0〕（適正86.8%）

(7) 今期の新規設備投資



今期の新規設備投資の動向

（単位％）

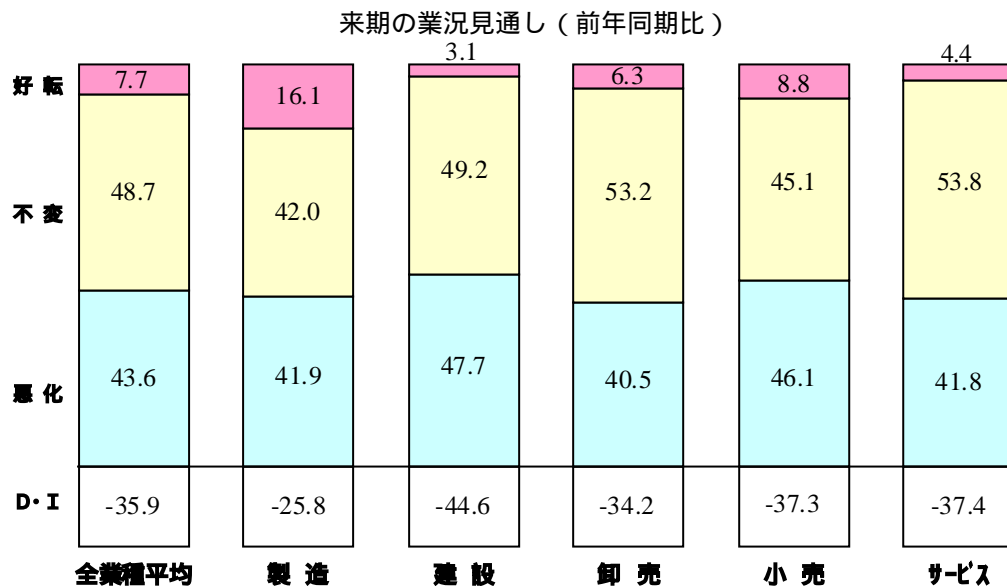
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	17.5	10.4	16.5	11.0	14.3	13.9
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	1.5
工場建物、建物、店舗	18.2	28.6	0.0	0.0	7.7	10.9
生産・販売・サービス設備、建設機械	63.6	0.0	0.0	10.0	15.4	17.8
車両運搬具	9.1	28.6	53.8	40.0	15.4	29.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	9.1	14.3	0.0	30.0	7.7	12.2
OA機器	0.0	42.9	46.2	30.0	53.8	34.6
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9.1	14.3	7.7	10.0	15.4	11.3
実施していない	82.5	89.6	83.5	89.0	85.7	86.1

新たに設備投資を実施した企業は平均で**13.9%**〔前回調査時（平成20年1～3月期10.6%）より3.3%増加〕、業種別では製造〔前回22.4% 17.5%〕、建設〔前回7.7% 10.4%〕、卸売〔前回8.2% 16.5%〕、小売〔前回4.6% 11.0%〕、サービス〔前回10.1% 14.3%〕と、建設、卸売、小売、サービスで前回調査時の水準を上回った。

2. 来期の見通し

(1) 来期の業況

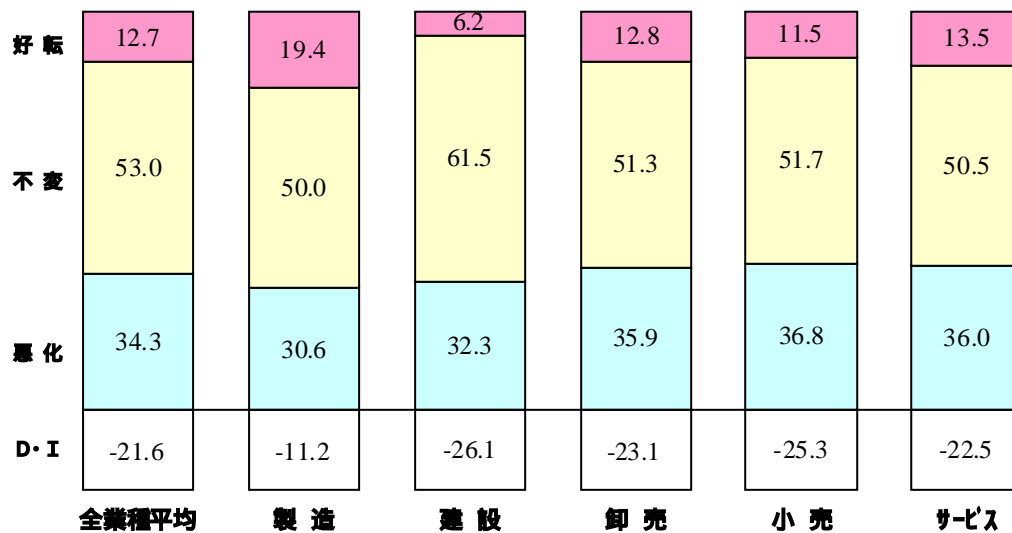
【前年同期比】（平成19年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **35.9**〔今期の業況（前年同期比 45.3）より9.4ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

【今期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

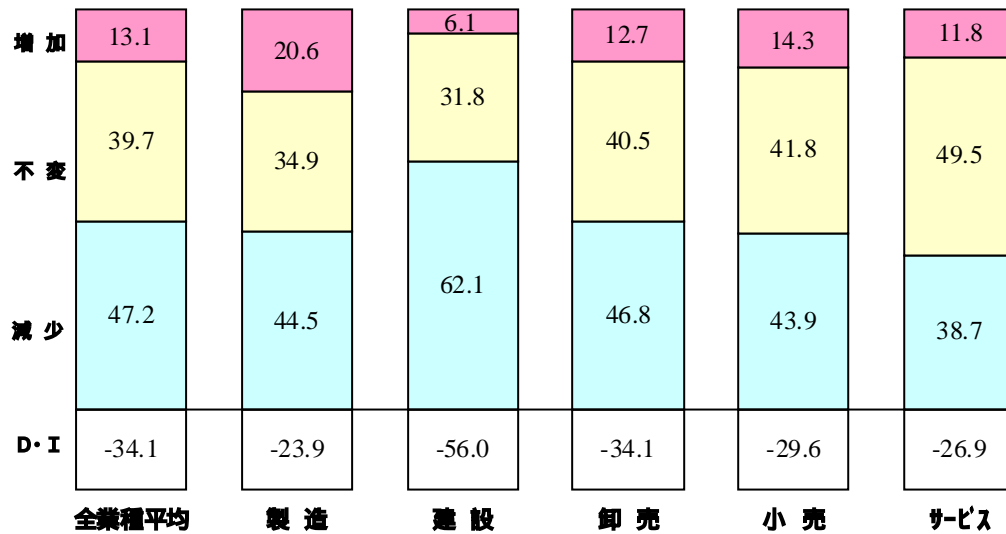
来期の業況見通し（今期比）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成19年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

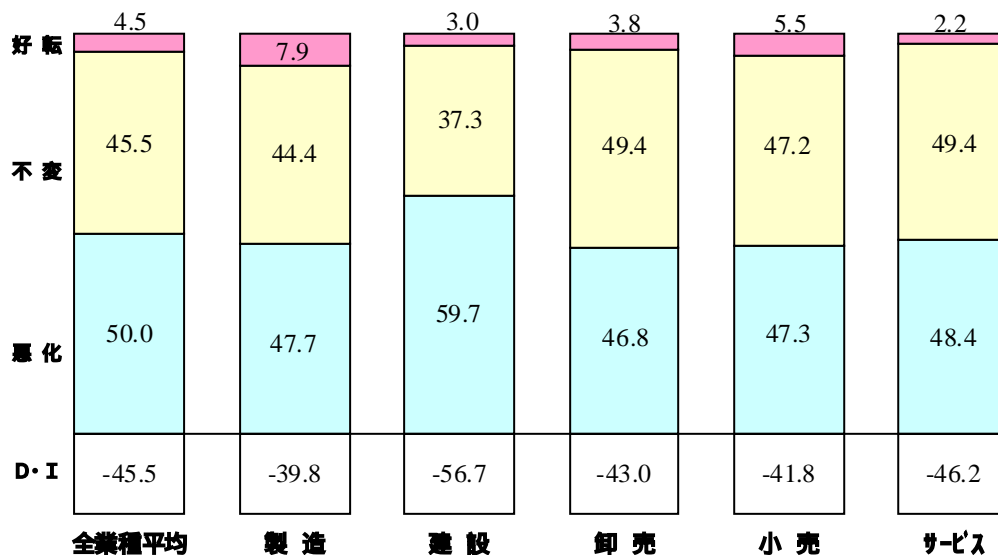


全業種平均でD・I値 **34.1**〔今期の売上高（前年同期比 39.9）より5.8ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成19年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **45.5**〔今期の採算（前年同期比 46.7）より1.2ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

来期の新規設備投資の動向

(単位%)

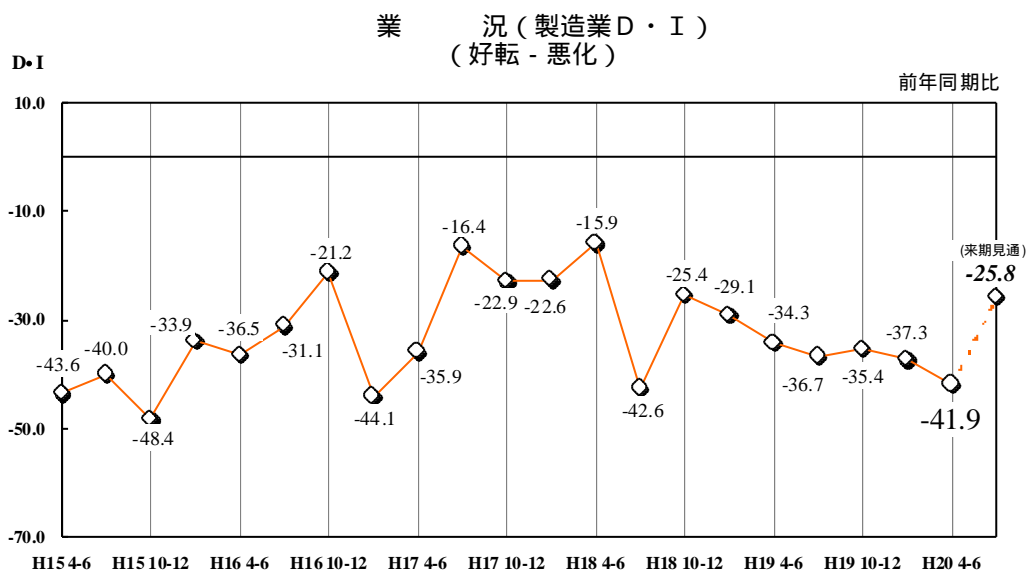
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	11.3	3.1	9.0	6.6	9.9	8.0
土地	0.0	50.0	0.0	16.7	11.1	15.6
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	0.0	16.7	22.2	7.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	42.9	0.0	14.3	33.3	33.3	24.8
車両運搬具	0.0	50.0	28.6	33.3	11.1	24.6
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	0.0	0.0	16.7	22.2	7.8
OA機器	28.6	0.0	71.4	33.3	11.1	28.9
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	2.2
その他	42.9	0.0	0.0	0.0	11.1	10.8
	88.7	96.9	91.0	93.4	90.1	92.0

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**8.0%**となっており、今期(13.9%)を下回る見通し。

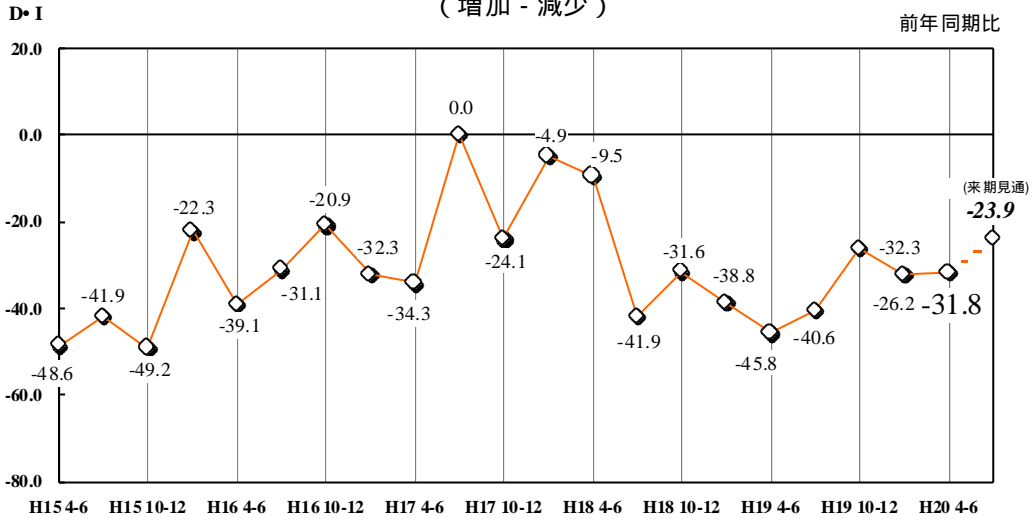
業種別では、製造〔今期17.5% 11.3%〕、建設〔今期10.4% 3.1%〕、卸売〔今期16.5% 9.0%〕、小売〔今期11.0% 6.6%〕、サービス〔今期14.3% 9.9%〕となっている。

業種別の動向

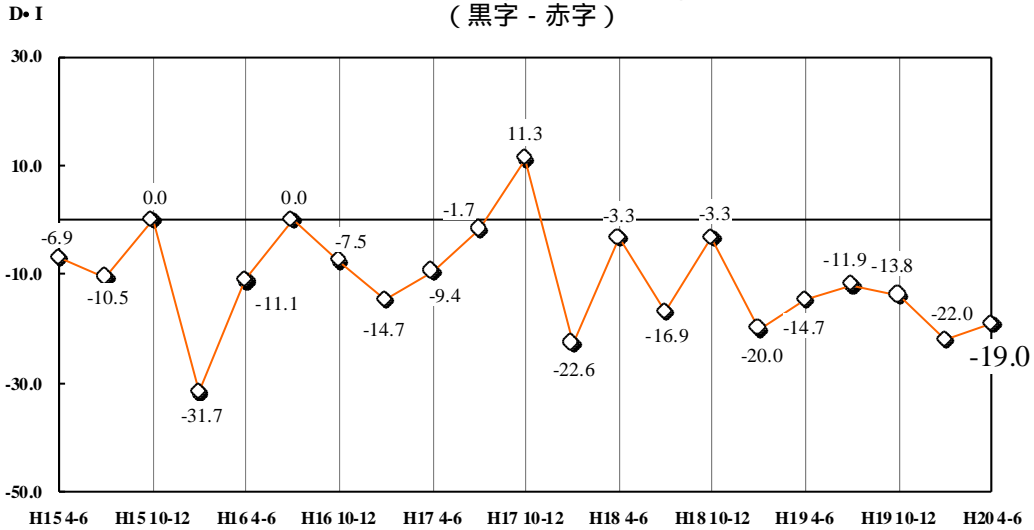
(1) 製造業



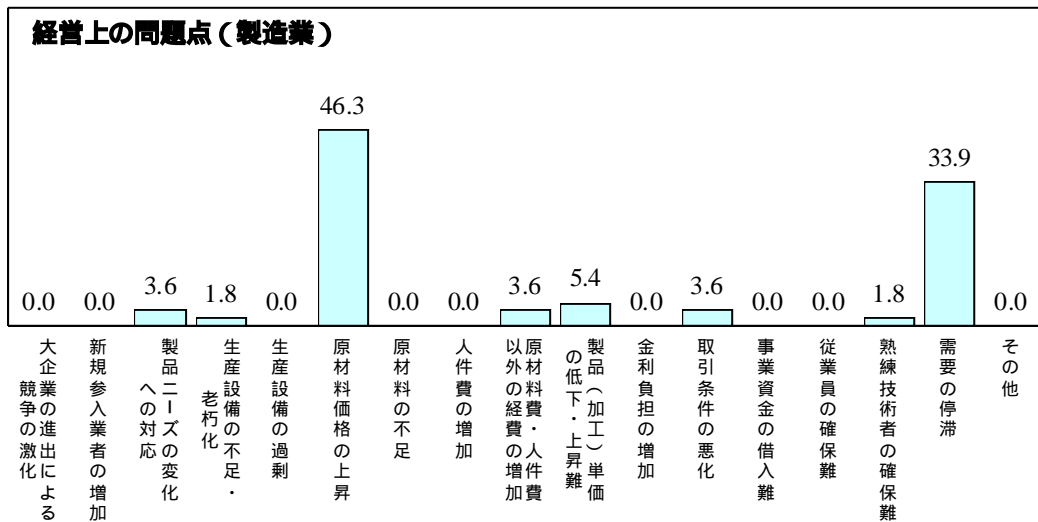
売上高(製造業D・I)
(増加-減少)



採算(製造業D・I)
(黒字-赤字)



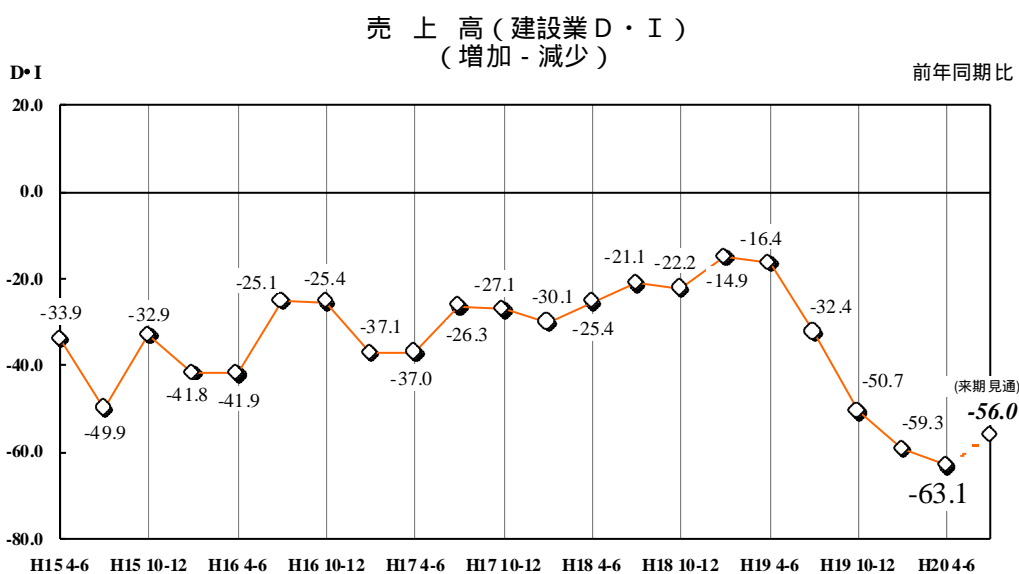
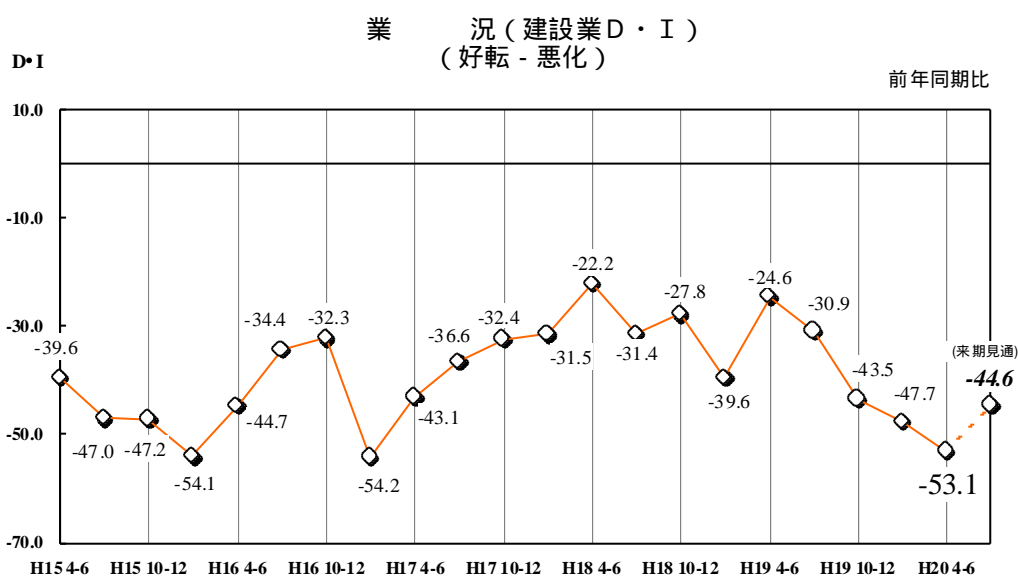
経営上の問題点



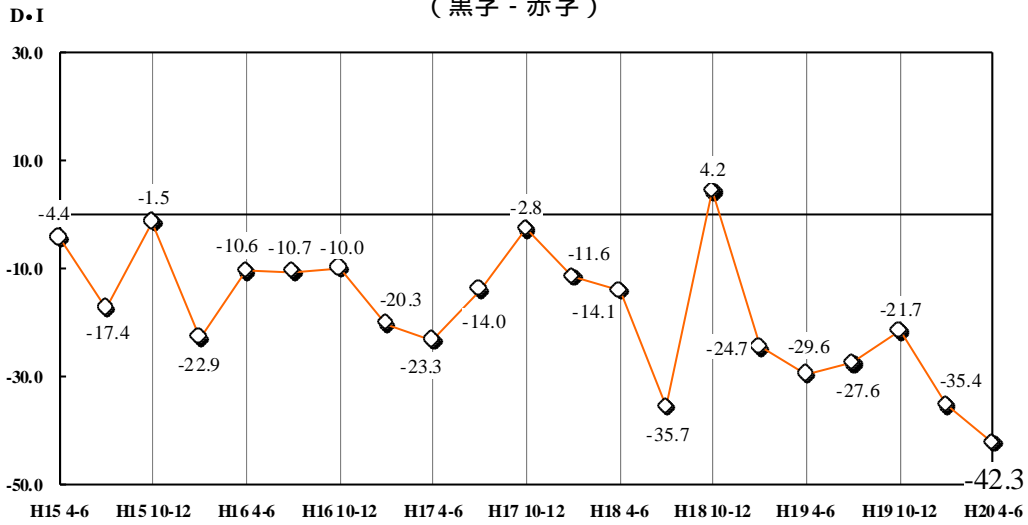
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	31.7	24.2	30.1 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	12.2	15.8 (今期比)
短期 〃	-----	7.0	10.5 (今期比)
設 備 操 業 率	23.7	-----	22.0 (前年同期比)

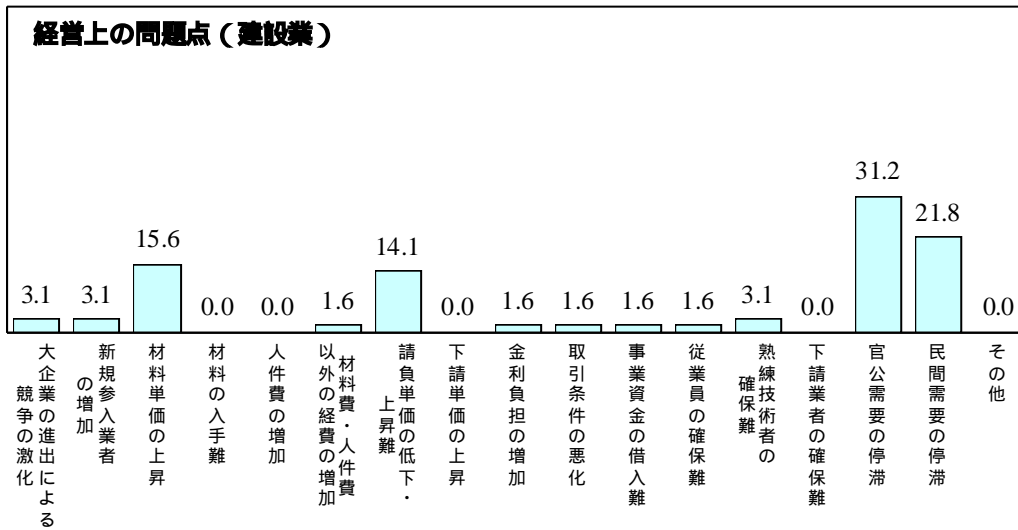
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)
(黒字 - 赤字)



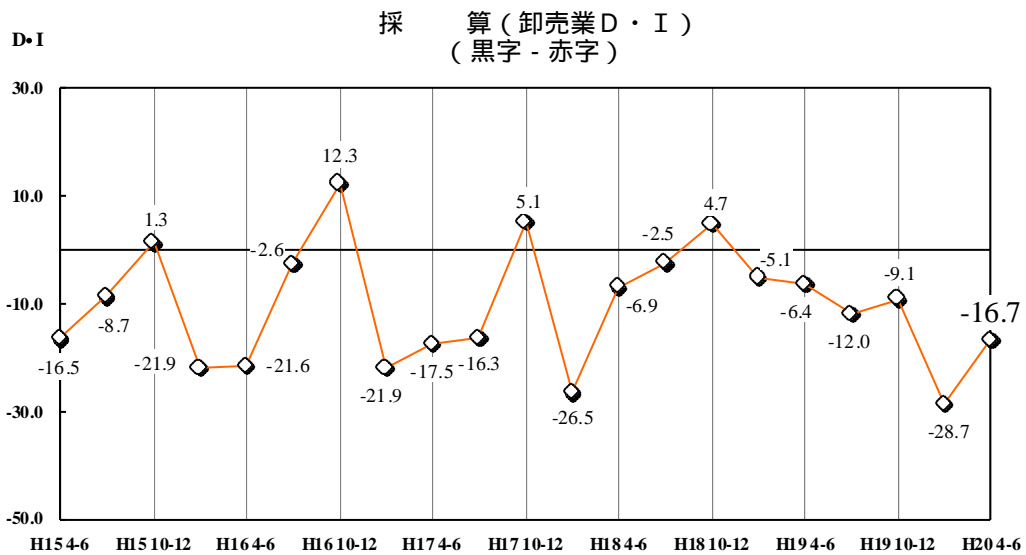
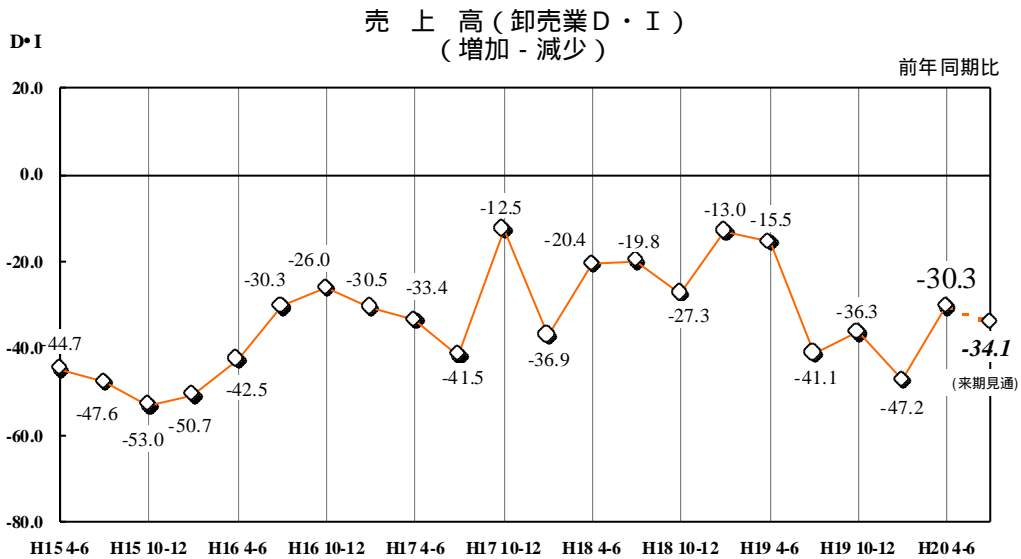
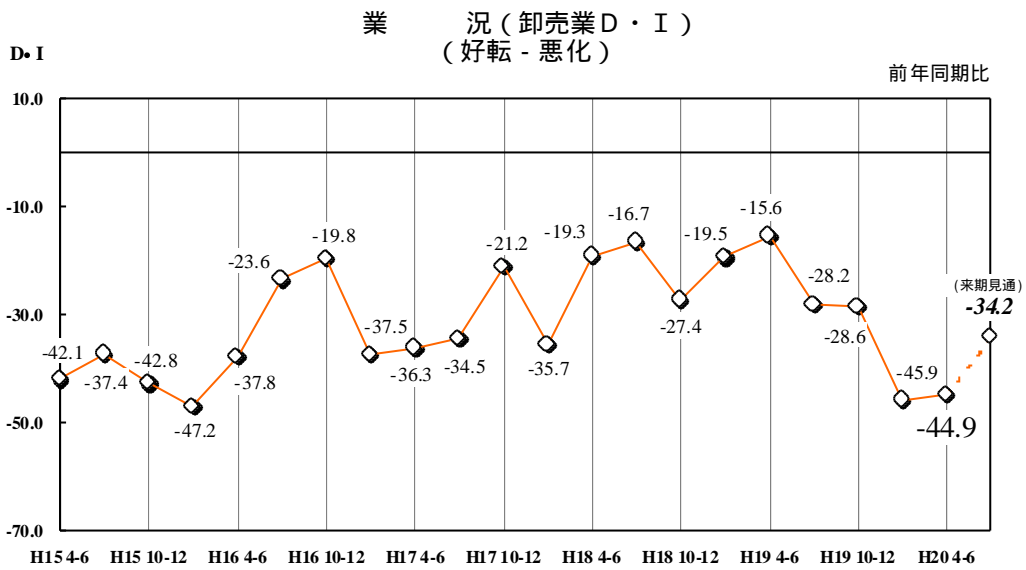
経営上の問題点



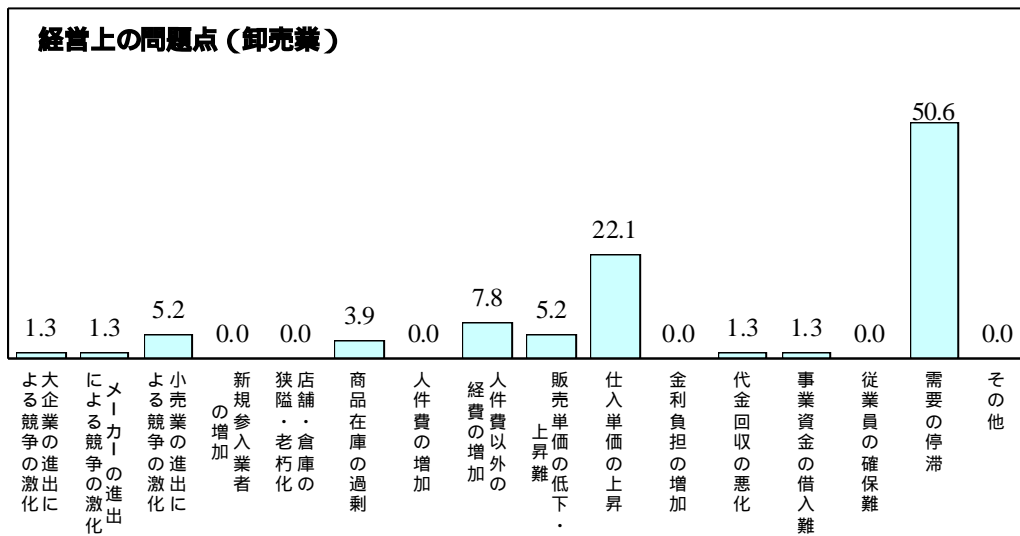
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	30.7	36.9	37.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	17.2	15.5 (今期比)
短期 "	-----	8.5	10.2 (今期比)
受注(新規契約工事)額	65.1	-----	50.0 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



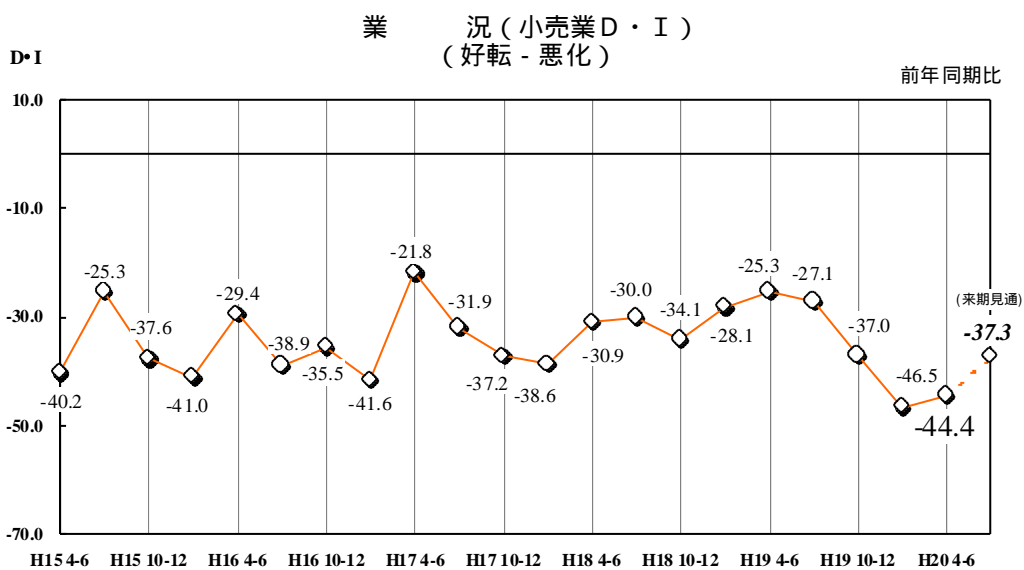
経営上の問題点

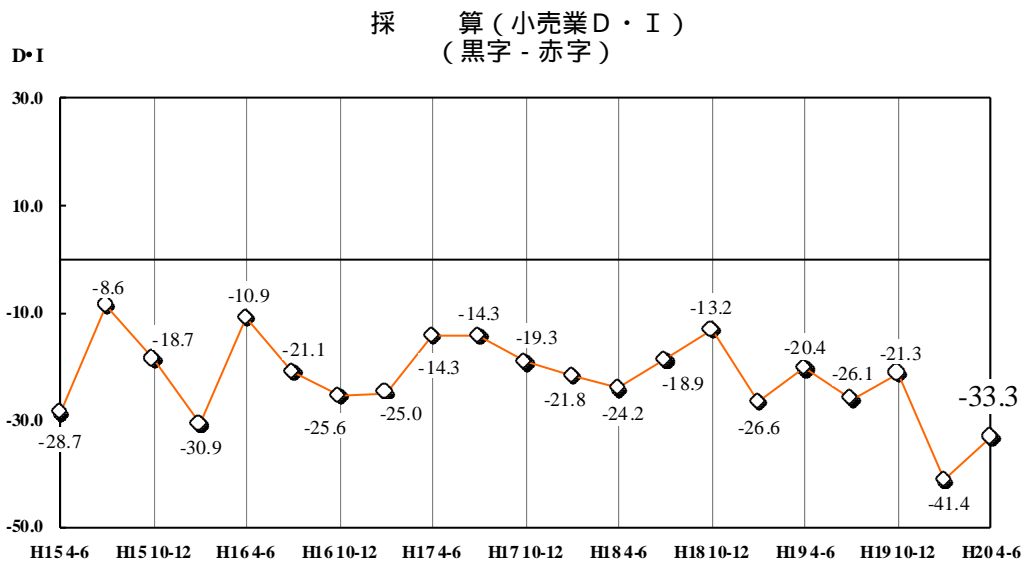
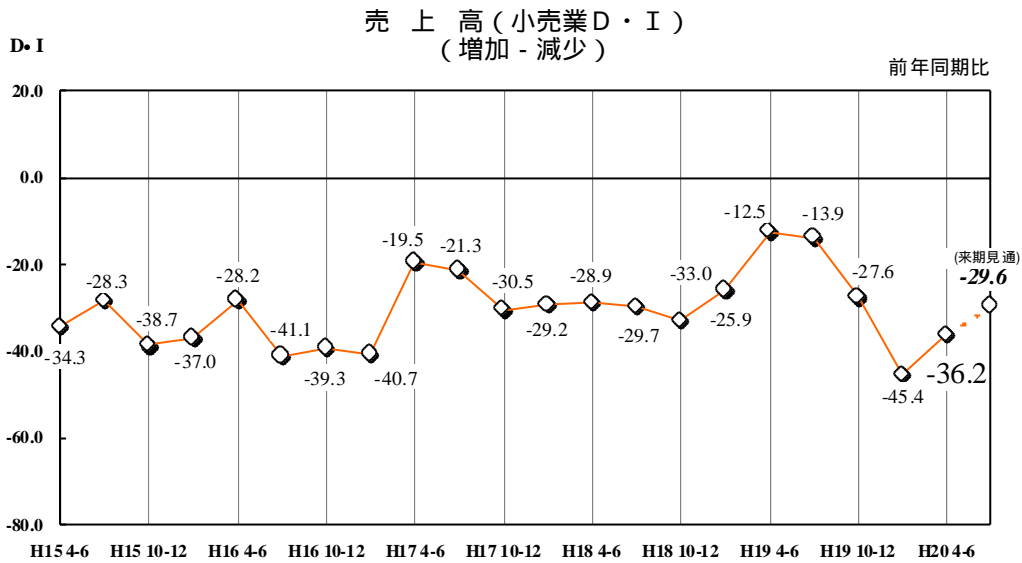


その他（D・I値）

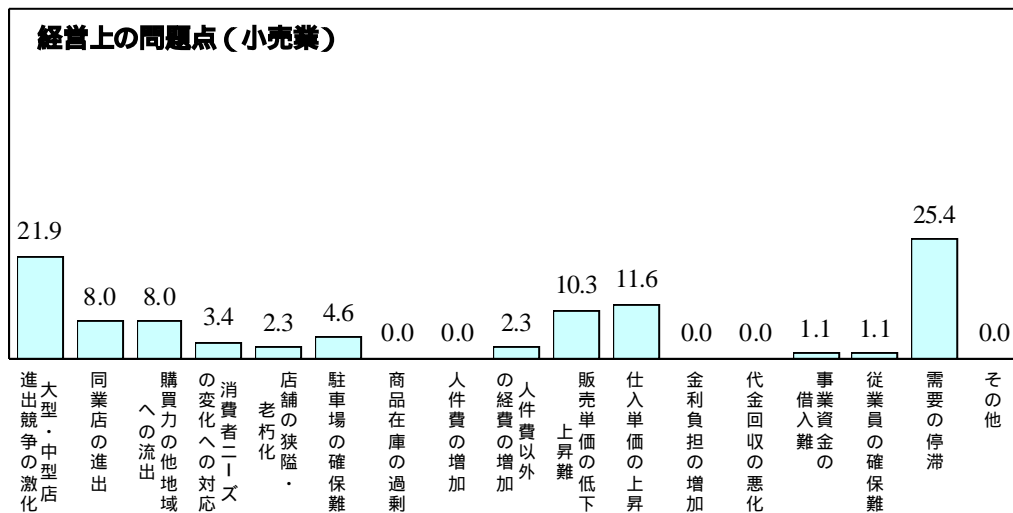
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	23.4	26.6	30.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	12.2	10.6 (今期比)
短期 "	-----	5.5	6.9 (今期比)
商品在庫数量	22.8	-----	26.5 (前年同期比)

(4) 小 売 業





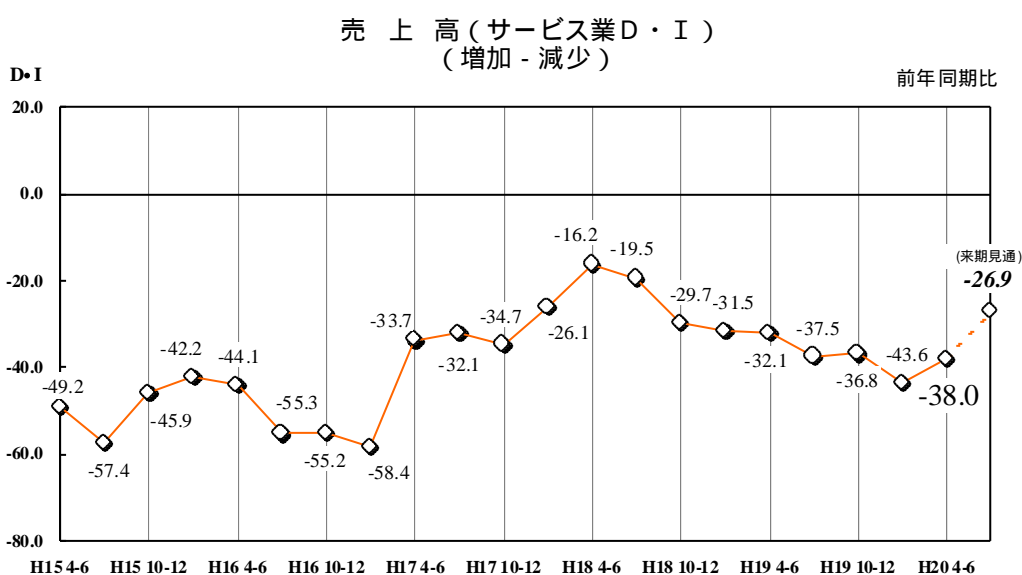
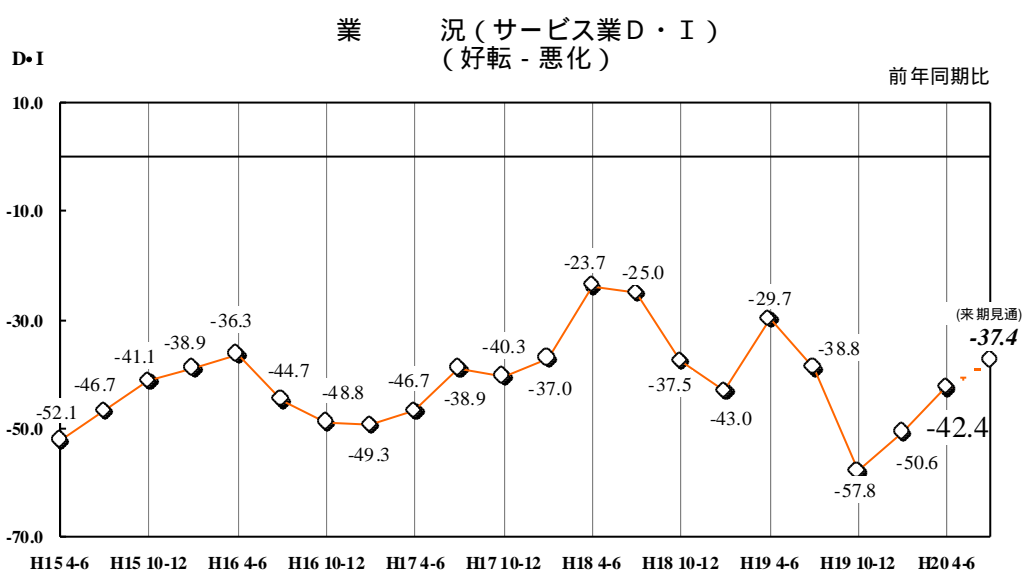
経営上の問題点

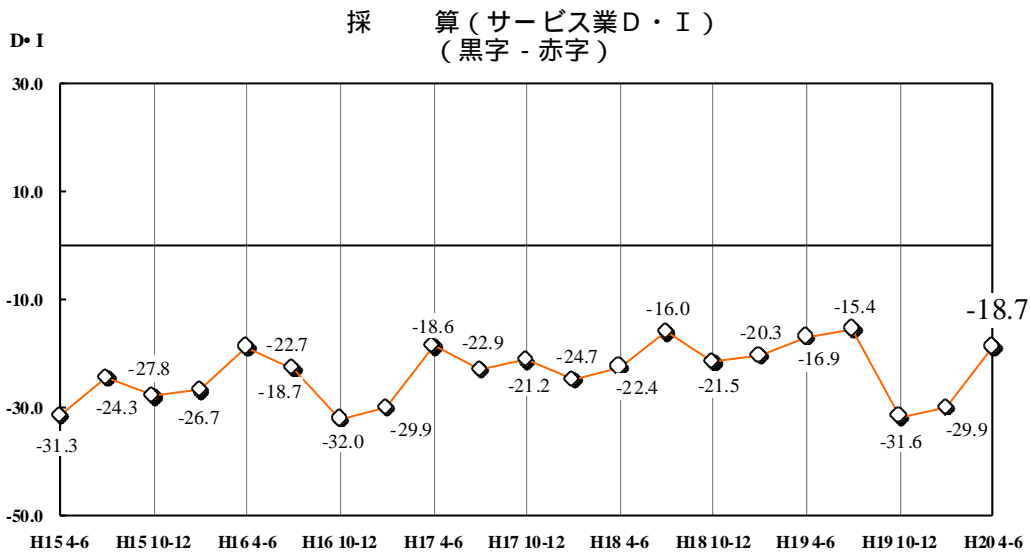


その他 (D・I値)

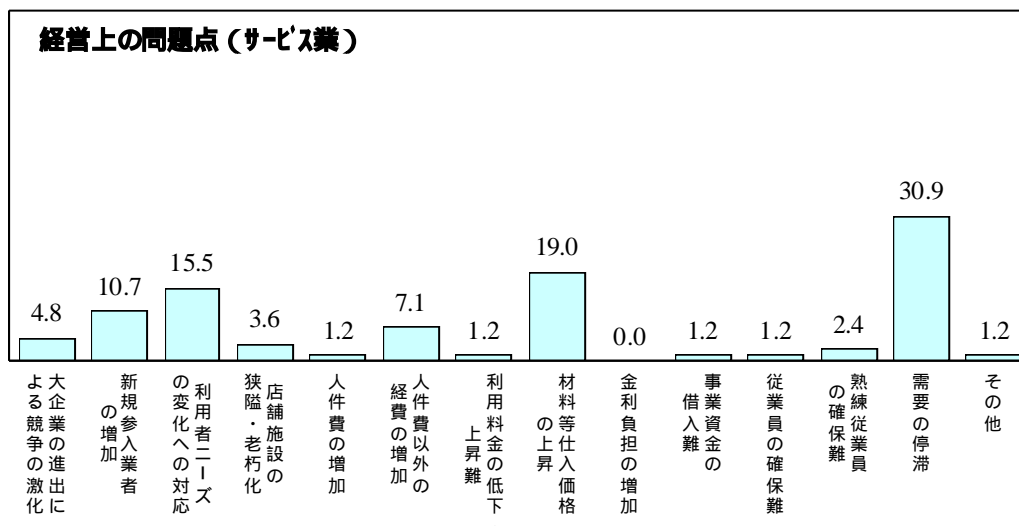
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	33.0	27.6	30.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	18.0	10.7 (今期比)
短期 "	-----	16.0	8.7 (今期比)
商品在庫数量	27.5	-----	30.8 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	28.8	26.5	28.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	19.0	27.5 (今期比)
短期 "	-----	16.0	23.4 (今期比)
利 用 客 数	31.9	17.6	22.0 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成20年1月～3月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業況(自社)	4.8	39.7	55.5	-50.7
生産に対する原材料在庫	6.6	85.2	8.2	-1.6
売上に対する製品在庫	7.3	83.6	9.1	-1.8
採算(経常利益)	14.3	52.4	33.3	-19.0
引合	13.3	41.7	45.0	-31.7
生産設備	11.5	80.3	8.2	3.3
従業員(含臨時・パート)	8.2	85.2	6.6	1.6

↗: 良い、過剰、黒字、活発
 ↘: ぶつづ、適正、収支トントン
 ↖: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成19年1月～3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				前年同期(平成19年4月～6月)と比べた 来期(平成20年4月～6月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売上(加工)額	20.6	27.0	52.4	-31.8	32.3	32.3	35.4	-3.1	20.6	34.9	44.5	-23.9
B 売上(加工)単価	22.2	54.0	23.8	-1.6	19.4	62.9	17.7	1.7	25.4	49.2	25.4	0.0
C 売上(加工)数量	17.5	27.0	55.5	-38.0	27.4	35.5	37.1	-9.7	19.0	41.3	39.7	-20.7
D 資金繰り	4.8	58.7	36.5	-31.7	4.8	66.2	29.0	-24.2	4.8	60.3	34.9	-30.1
E 輸出入額	18.2	63.6	18.2	0.0					18.2	63.6	18.2	0.0
F 原材料仕入単価	86.9	11.5	1.6	85.3					77.1	21.3	1.6	75.5
G 原材料在庫数量	11.5	70.5	18.0	-6.5					3.3	80.3	16.4	-13.1
H 製品在庫数量	7.4	66.7	25.9	-18.5					3.7	74.1	22.2	-18.5
I 採算(経常利益)	9.5	42.9	47.6	-38.1					7.9	44.4	47.7	-39.8
J 従業員(含臨時・パート)	8.2	72.1	19.7	-11.5					4.9	75.4	19.7	-14.8
K 外部人材(請負・派遣)	3.1	78.1	18.8	-15.7					0.0	84.4	15.6	-15.6
L 設備操業率	11.9	52.5	35.6	-23.7					11.9	54.2	33.9	-22.0
M 引合	20.0	40.0	40.0	-20.0								
N 受注残	3.4	62.1	34.5	-31.1								
O 業況(自社)	11.3	35.5	53.2	-41.9	14.3	47.6	38.1	-23.8	16.1	42.0	41.9	-25.8
	前年同期(平成19年1月～3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				今期(平成20年1月～3月)と比べた 来期(平成20年4月～6月)の見通し			
P 受取手形期間					2.1	97.9	0.0	2.1	2.2	97.8	0.0	2.2
Q 長期資金借入難度					5.3	77.2	17.5	-12.2	3.5	77.2	19.3	-15.8
R 短期資金借入難度(含手形割引)					5.3	82.4	12.3	-7.0	3.5	82.5	14.0	-10.5
S 借入金金利					26.3	70.2	3.5	22.8	26.3	73.7	0.0	26.3

↗: 増加 ↘: 上昇 ↖: 好転 ↗: 長期化 ↘: 容易
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) - : 不変(B, F, L, S) - : 不変(D, I, O) - : 不変(P) - : 不変(Q, R)
 ↘: 減少 ↖: 低下 ↘: 悪化 ↘: 短期化 ↘: 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	17.5	0.0	18.2	63.6	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	82.5
来期	11.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	42.9	88.7

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	0.0	5.4
新規参入業者の増加	0.0	1.8
製品ニーズの変化への対応	3.6	14.3
生産設備の不足・老朽化	1.8	10.7
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	46.3	76.8
原材料料の不足	0.0	1.8
人件費の増加	0.0	7.1
原材料費・人件費以外の経費の増加	3.6	21.4
製品(加工)単価の低下・上昇難	5.4	44.6
金利負担の増加	0.0	0.0
取引条件の悪化	3.6	16.1
事業資金の借入難	0.0	5.4
従業員の確保難	0.0	10.7
熟練技術者の確保難	1.8	1.8
需要の停滞	33.9	60.7
その他	0.0	0.0

2. 建設業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成20年1月～3月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	3.0	31.8	65.2	-62.2
採算(経常利益)	6.1	45.5	48.4	-42.3
引合	3.2	43.5	53.3	-50.1
従業員(含臨時・パート)	12.1	78.8	9.1	3.0

▲: 良い、過剰、黒字、活発
 ○: ふつう、適正、収支トントン
 ▼: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成19年1月～3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				前年同期(平成19年4月～6月)と比べた 来期(平成20年4月～6月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 完成工事(請負工事)額	7.7	21.5	70.8	-63.1	16.9	35.4	47.7	-30.8	6.1	31.8	62.1	-56.0
B 資金繰り	3.1	63.1	33.8	-30.7	0.0	63.1	36.9	-36.9	3.0	56.1	40.9	-37.9
C 受注(新規契約工事)額	7.6	19.7	72.7	-65.1					7.6	34.8	57.6	-50.0
D 材料仕入単価	75.4	21.5	3.1	72.3					80.0	18.5	1.5	78.5
E 採算(経常利益)	3.0	35.8	61.2	-58.2					3.0	37.3	59.7	-56.7
F 従業員(含臨時・パート)	6.2	72.3	21.5	-15.3					4.6	81.6	13.8	-9.2
G 外部人材(請負・派遣)	8.5	76.2	15.3	-6.8					6.8	77.9	15.3	-8.5
H 引合	8.2	42.6	49.2	-41.0								
I 契約残(未消化工事高)	6.2	47.6	46.2	-40.0								
J 業況(自社)	4.5	37.9	57.6	-53.1	7.6	54.5	37.9	-30.3	3.1	49.2	47.7	-44.6
K 受取手形期間					7.8	92.2	0.0	7.8	6.2	61.5	32.3	-26.1
L 長期資金借入難度					5.2	72.4	22.4	-17.2	7.8	92.2	0.0	7.8
M 短期資金借入難度(含手形割引)					5.1	81.3	13.6	-8.5	5.2	74.1	20.7	-15.5
N 借入金					25.0	73.3	1.7	23.3	5.1	79.6	15.3	-10.2
									21.7	76.6	1.7	20.0

▲: 増加 ▲: 上昇 ▲: 好転 ▲: 長期化 ▲: 容易
 ○: 不変(A, C, F, G, H, I) ○: 不変(D, N) ○: 不変(B, E, J) ○: 不変(K) ○: 不変(L, M)
 ▼: 減少 ▼: 低下 ▼: 悪化 ▼: 短期化 ▼: 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	10.4	0.0	28.6	0.0	28.6	14.3	42.9	0.0	14.3	89.6
来期	3.1	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.9

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	3.1	9.4
新規参入業者の増加	3.1	4.7
材料単価の上昇	15.6	56.3
材料の入手難	0.0	3.1
人件費の増加	0.0	3.1
材料費・人件費以外の経費の増加	1.6	20.3
請負単価の低下・上昇難	14.1	50.0
下請単価の上昇	0.0	0.0
金利負担の増加	1.6	3.1
取引条件の悪化	1.6	9.4
事業資金の借入難	1.6	10.9
従業員の確保難	1.6	1.6
熟練技術者の確保難	3.1	7.8
下請業者の確保難	0.0	0.0
官公需要の停滞	31.2	48.4
民間需要の停滞	21.8	59.4
その他	0.0	0.0

3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成20年 1月～ 3月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	3.8	35.9	60.3	-56.5
売 上 対 する 商 品 在 庫	17.7	77.2	5.1	12.6
採 算(経常利益)	11.5	60.3	28.2	-16.7
引 合	2.6	50.0	47.4	-44.8
従 業 員(含臨時・パート)	4.0	88.0	8.0	-4.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成19年10月～ 12月)に比べて				前年同期(平成19年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成20年 4月～ 6月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	前	D・I	前	年	同	D・I
A 売 上 額	20.3	29.1	50.6	-30.3	29.1	35.5	35.4	-6.3	12.7	40.5	46.8	-34.1
B 売 上 単 価	44.3	36.7	19.0	25.3	39.2	50.7	10.1	29.1	41.8	44.3	13.9	27.9
C 資 金 繰 り	2.6	71.4	26.0	-23.4	5.1	67.1	27.8	-22.7	1.3	67.1	31.6	-30.3
D 商 品 仕 入 単 価	73.4	20.3	6.3	67.1					69.3	26.9	3.8	65.5
E 商 品 仕 入 数 量	15.2	43.0	41.8	-26.6					10.1	57.0	32.9	-22.8
F 商 品 在 庫 数 量	15.2	46.8	38.0	-22.8					8.9	55.7	35.4	-26.5
G 採 算(経常利益)	5.1	55.7	39.2	-34.1					3.8	49.4	46.8	-43.0
H 従 業 員(含臨時・パート)	9.6	72.6	17.8	-8.2					4.1	78.1	17.8	-13.7
I 外 部 入 材(請負・派遣)	2.0	91.9	6.1	-4.1					2.0	88.2	9.8	-7.8
J 引 合	8.1	40.5	51.4	-43.3								
K 業 況(自 社)	5.1	44.9	50.0	-44.9	10.1	53.2	36.7	-26.6	6.3	53.2	40.5	-34.2
	前年同期(平成19年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成19年10月～ 12月)に比べて				今 期(平成20年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成20年 4月～ 6月)の見通し			
L 受 取 手 形 期 間					3.2	96.8	0.0	3.2	0.0	100.0	0.0	0.0
M 長 期 資 金 借 入 難 度					4.1	78.1	17.8	-13.7	4.1	78.1	17.8	-13.7
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					6.8	80.9	12.3	-5.5	6.8	79.5	13.7	-6.9
O 借 入 金 利					20.3	78.3	1.4	18.9	20.3	79.7	0.0	20.3

↗ : 増加
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不変(L)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変(M, N)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	16.5	0.0	0.0	0.0	53.8	0.0	46.2	0.0	7.7	83.5
来 期	9.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	71.4	0.0	0.0	91.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	1.3	11.7
メーカーの進出による競争の激化	1.3	5.2
小売業の進出による競争の激化	5.2	13.0
新規参入業者の増加	0.0	3.9
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0.0	2.6
商品在庫の過剰	3.9	7.8
人件費の増加	0.0	5.2
人件費以外の経費の増加	7.8	20.8
販売単価の低下・上昇難	5.2	37.7
仕入単価の上昇	22.1	51.9
金利負担の増加	0.0	3.9
代金回収の悪化	1.3	18.2
事業資金の借入難	1.3	5.2
従業員の確保難	0.0	1.3
需要の停滞	50.6	74.0
その他	0.0	1.3

4. 小 売 業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成20年 1月～ 3月)の水準			D・I
業 況 (自 社)	5.6	35.6	58.8	-53.2
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	24.7	64.1	11.2	13.5
採 算 (経 常 利 益)	5.6	55.5	38.9	-33.3
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	4.8	86.8	8.4	-3.6

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成19年10月～ 12月)に比べて				前年同期(平成19年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成20年 4月～ 6月)の見通し			
				D・I				D・I				D・I
A 売 上 額	15.4	33.0	51.6	-36.2	28.9	32.2	38.9	-10.0	14.3	41.8	43.9	-29.6
B 客 単 価	11.0	40.7	48.3	-37.3	14.4	50.0	35.6	-21.2	11.0	41.8	47.2	-36.2
C 客 数	12.1	41.8	46.1	-34.0	17.8	46.6	35.6	-17.8	11.0	48.3	40.7	-29.7
D 資 金 繰 り	3.4	60.2	36.4	-33.0	4.6	63.2	32.2	-27.6	4.5	60.3	35.2	-30.7
E 商 品 仕 入 単 価	41.1	41.1	17.8	23.3					38.9	47.8	13.3	25.6
F 商 品 仕 入 額	26.7	32.2	41.1	-14.4					26.7	37.7	35.6	-8.9
G 商 品 在 庫 数 量	8.8	54.9	36.3	-27.5					5.5	58.2	36.3	-30.8
H 採 算 (経 常 利 益)	3.3	40.7	56.0	-52.7					5.5	47.2	47.3	-41.8
I 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	3.6	78.3	18.1	-14.5					3.6	83.1	13.3	-9.7
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	1.8	89.4	8.8	-7.0					1.8	92.9	5.3	-3.5
K 業 況 (自 社)	7.8	40.0	52.2	-44.4	11.1	46.7	42.2	-31.1	8.8	45.1	46.1	-37.3
L 長 期 資 金 借 入 難 度									11.5	51.7	36.8	-25.3
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					3.8	74.4	21.8	-18.0	4.0	81.3	14.7	-10.7
N 借 入 金 利					4.3	75.4	20.3	-16.0	4.3	82.7	13.0	-8.7

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, H, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 設 施	O A 機 器	福 利 厚 生 設 施	そ の 他	
今 期	11.0	0.0	0.0	10.0	40.0	30.0	30.0	0.0	10.0	89.0
来 期	6.6	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	93.4

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大・中型店の進出による競争の激化	21.9	35.6
同 業 者 の 進 出	8.0	12.6
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	8.0	23.0
消 費 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	3.4	28.7
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	2.3	6.9
駐 車 場 の 確 保 難	4.6	10.3
商 品 在 庫 の 過 剰	0.0	4.6
人 件 費 の 増 加	0.0	4.6
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	2.3	14.9
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	10.3	34.5
仕 入 単 価 の 上 昇	11.6	28.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	4.6
代 金 回 収 の 悪 化	0.0	2.3
事 業 資 金 の 借 入 難	1.1	8.0
従 業 員 の 確 保 難	1.1	3.4
需 要 の 停 滞	25.4	50.6
そ の 他	0.0	3.4

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成20年 1月～ 3月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	5.6	54.4	40.0	-34.4
採 算(経常利益)	13.2	54.9	31.9	-18.7
従 業 員(含臨時・パート)	3.6	86.8	9.6	-6.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				前年同期(平成19年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成20年 4月～ 6月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	同	D・I	前	年	同	D・I
A 売 上 (収 入) 額	8.7	44.6	46.7	-38.0	22.6	36.6	40.8	-18.2	11.8	49.5	38.7	-26.9
B 客 単 価	4.4	68.9	26.7	-22.3	11.1	67.8	21.1	-10.0	3.3	71.1	25.6	-22.3
C 利 用 客 数	6.6	54.9	38.5	-31.9	15.4	51.6	33.0	-17.6	8.8	60.4	30.8	-22.0
D 資 金 繰 り	1.1	69.0	29.9	-28.8	3.4	66.7	29.9	-26.5	2.3	66.7	31.0	-28.7
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	51.1	43.2	5.7	45.4					46.6	46.6	6.8	39.8
F 採 算 (経 常 利 益)	1.1	47.3	51.6	-50.5					2.2	49.4	48.4	-46.2
G 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	6.0	76.1	17.9	-11.9					6.0	82.1	11.9	-5.9
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	3.2	79.1	17.7	-14.5					3.2	77.4	19.4	-16.2
I 業 況 (自 社)	3.3	51.0	45.7	-42.4	11.0	50.5	38.5	-27.5	4.4	53.8	41.8	-37.4
L 長 期 資 金 借 入 難 度					5.1	70.8	24.1	-19.0	1.3	69.9	28.8	-27.5
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					6.7	70.6	22.7	-16.0	2.6	71.4	26.0	-23.4
N 借 入 金 利					14.9	81.0	4.1	10.8	12.0	76.0	12.0	0.0

↗ : 増加
 - : 不変 (A , C , G , H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B , E , N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D , F , I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L , M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	サ-ビス設備	車両・運搬具	付帯施設	O A機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	14.3	7.7	7.7	15.4	15.4	7.7	53.8	0.0	15.4	85.7
来 期	9.9	11.1	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	90.1

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3 位
大企業の進出による競争の激化	4.8	14.3
新規参入業者の増加	10.7	17.9
利用者ニーズの変化への対応	15.5	42.9
店舗施設の狭隘・老朽化	3.6	8.3
人件費の増加	1.2	13.1
人件費以外の経費の増加	7.1	27.4
利用料金の低下・上昇難	1.2	19.0
材料等仕入単価の上昇	19.0	39.3
金利負担の増加	0.0	4.8
事業資金の借入難	1.2	8.3
従業員の確保難	1.2	6.0
熟練従業員の確保難	2.4	13.1
需要の停滞	30.9	54.8
その他	1.2	2.4